

新年明けましておめでとうございます。令和 3 年山形村役職員新年会にあたり一言、ご挨拶を申し上げます。

昨年来のコロナ禍で迎える新年ではありますが、皆さまには、ご健勝で新しい年をお迎えになられたことと、お慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くのイベントや会議が中止になるなどコロナに翻弄された年でありました。

今年度、山形村独自のコロナ対策の事業では、コロナの影響の大きい飲食店へ一律 10万円の臨時給付金の支給、村民の皆さまへひとり万円の商品券の配布、9月から3か月間、水道の基本料金の免除、子育て家庭の児童園児の保護者へ9月から3月までの給食費・副食費相当額の補助などを行っております。

新年を迎え、一昨日、当村においても、感染症の陽性者一名が確認され、松本広域圏でも感染者数が、増加しております。首都圏では、本日緊急事態宣言の発令が予定されております。

今後も、村民の生命と生活に関わる極めて重要な課題でありますので、全庁で対応して参ります。

一日も早くワクチンが供給され、予防接種を誰もが受けられ、全世界でコロナ感染症が終息に向かうことを願うところであります。

国政では、昨年9月、安倍首相の後継として菅政権が誕生いたしました。

コロナ対策や国土強靱化、行政のデジタル化、グリーン社会の実現、脱炭素化な

どが重要施策として示されております。

村政においても、刻々と変化する社会情勢を迅速に捉え、多様化する村民の行政需要にどう対応するか、新たな発想と、的確な判断が求められる時代であります。

今後、人口減少と共に村の予算規模も縮小することが予測されます。

村政の中長期に渡る最優先課題は、人口の減少を最小限に食い止め、もう一度、人口増加を目指すことだと考えております。

今後、当村を取ります環境も大きく変わろうとしております。

交通の関係では、中部縦貫道・松本糸魚川連絡道路の整備については、今後、県が直接調整を進める方針が示されております。

又、コロナ禍でどん挫していますが、松本空港の国際化や、沖縄とのチャーター便の運航なども予定されており、中信地区の観光や流通などの産業にとっては、新たな可能性が生まれる時代を迎えようとしております。

さて、本年は、2月に村長選挙がございますので、新年度の予算は骨格予算となり新たに村長の任期が始まる年であります。それぞれご理解をいただきご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、まだまだ寒い日が続きますので、健康には十分ご留意をいただき、この一年が皆さま取っても、又山形村にとっても良い年となります様祈念を申し上げます。新年の挨拶といたします。